

公民館だより Toyosato No. 59



豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報
3月号
平成30年3月1日発行



豊里小学校 1/19



柳津小学校 1/26



横山小学校 1/30

平筒沼農村文化自然学習館(以下『学習館』)は、平筒沼の南側にある生涯学習施設です。

民俗資料展示室には、昔の生活民具や農具などを常設展示しており、祖先の生活や農作業の様子などが実感できる貴重な文化財です。

また、旧仙台藩領内(宮城県～岩手県南)だけに見られ

いにしへの生活の様子を実感

市内4小学校が平筒沼学習館を見学



る特異な民間信仰であり、その対象となる『竈神』を20面展示しており、有形民俗文化財として宮城県の指定を受けています。

この『竈神』は、多くは憤怒の形相で台所の柱に祀られ、火難除け、魔除け、家内繁盛など、火を象徴化した塑像の守り神として大事にされてきました。

こうしたこの地方独特の民間信仰に興味を抱き、遠く県外からも多くの方々が来館されています。

このような貴重な民俗資料が生きた教材となっており、市内外の小・中学校が例年見学に訪れ、その機会も年々増加しています。

今年も1月～2月にかけて市内4つの小学校3学年の児童が社会科の授業で学習館を訪れました。

子ども達は、見たこともない珍しい生活民具や農具に興味津々。何のために、どうやって使うのか、いつ頃まで使っていたのかなど、多くの質問がありました。



佐沼小学校 2/2



貴重な民俗資料が見られる展示室



宮城県指定民俗文化財の竈神

学校支援ボランティアの守屋博さん(新町)の丁寧でわかりやすい説明に大きく頷いたり、メモを取りスケッチに書き込んだり、熱心に学んでいました。

また、全てが違う表情の『竈神』の迫力にもびっくりした様子。一つ一つ見比べて歩く姿が印象的でした。

生花二種生けで春を表現

いけばな教室、好評のうちに閉講



2月8日、平筒沼農村文化自然学習館研修室において、いけばな教室第5回学習会を開催しました。

講師は、おなじみ高橋由紀子先生(長根)。12名の皆さんが参加して生花(しょうか)に取り組みしました。



花材を生かし、春到来を感じさせる個性豊かな生花二種生けが完成

生花は、大地に根をつけて生い立つ草花がみせる生命の力を表現します。

真(高く伸び立つ枝)・副(真に寄り添うように伸び立つ姿勢)・体(草木の生まれ持って備えている性状)の三つの役枝とそれぞれの補足になるあしらいを入れて一瓶を整えます。

今回は二種生けに挑戦。花材はアカメヤナギと小菊で、真・副・体を整えながら春の季節感を表現します。

高橋先生の実技指導をいただきながら、それぞれにみごとな一瓶ができました。

今年度も今日が最終回。1年を通して満足のいく充実した学習を終えました。



何回やっても楽しいそり遊び

ときめきキッズクラブ『そり遊び・スキー教室』(主催豊里教育事務所、公民館共催)が2月17日(土)、大崎市のオニコウベスキー場で開催されました。

今回は小学生15名、ジュニアリーダー9名、講師・スタッフ等7名の合わせて31名が参加。子どもたちは早朝にもかかわらず元気いっぱい、オニコウベスキー場に向けて出発しました。

雪は友だち 楽しさいっぱい ～ときめきキッズ そり遊び スキー教室～



スキー場には午前9時前に到着。ゲレンデでは雪が降っており、時おり強風で吹雪となるあいにくの天気でしたが、それでも子ども達は元気いっぱい。早速そり遊びのグループとスキー

のグループに別れて、楽しく滑走を開始しました。

そり遊びグループは、そりコースで歓声をあげながら楽しく滑っていました。午後にはスノーチューブ(やわらかいゴム製のドー



スキーの基礎をしっかりと教わる

ナツ型のそり)で、楽しく競争をしていました。

またスキーグループは、未経験者が5人いましたが、午前と午後の2回、2時間ずつのレッスンで、滑走の基礎を教わりました。転びながらも、何回も練習すると、次第にしっかりと修得。リフトに乗って滑り降りられるまでになりました。

スキーもそりもとても楽しい1日でした。

囲碁将棋 サークルの集い 趣味を満喫 交流に話はずむ



2月12日、公民館和室において、第12回囲碁将棋サークルの集いを開催しました。この日は朝からの雪で、5cmほどの着雪があり、悪天候にもかかわらず6名の小学生を含む18名の愛好者

が参加する大盛況の集いとなりました。

今回の参加者のうち、新たな参加者として津山町から1名と、小学生2名の見学者があり、一緒に将棋を楽しみました。

メンバーの皆さんは、ほとんどがおなじみの顔ぶれで、実際の対局でも話題いろいろ、対話ははずみます。

また、研究熱心なところはメンバー共通の特徴で、対局が終わった時点で周りの皆が集まり、感想戦に花を咲かせていました。

サークルは大いに楽しめます。どうぞご参加下さい。



子どもも大人も対局は真剣そのもの

けの汁、ドーナツを販売(豊里コミュニティ参加)

東北風土マラソン&フェスティバル 2018

期日 3月24日(土)～25日(日)
場所 長沼フートピア公園



両日出店します けの汁は25日
どうぞお立ち寄り下さい

3月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
3月1日(木)	第2回寄せ植え教室	公民館中ホール
3月5日(月)	シニア移動研修	大崎市
3月6日(火)	パソコン教室 (13日, 27日)	公民館会議室
3月8日(木)	第5回料理教室	多目的研修センター
3月11日(日)	囲碁・将棋サークル	公民館和室
3月17日(土)	子どもお菓子づくり教室	多目的研修センター
3月24日(土)	東北風土マラソン(25日まで)	迫町長沼湖畔
3月30日(金)	歌声喫茶	多目的研修センター

編集後記

まだまだ厳しい寒さが続いています。インフルエンザも衰えを見せず、かなり流行しています。お互いに気をつけたいものです。

18日に開催した上方落語会田辺寄席豊里公演には、

たくさんの皆様にお越しいただき感謝申し上げます。

お陰様で会場も満席状態。前年以上に盛り上がり、大いに楽しみたいだけのことかと思えます。

これからも楽しいイベントを企画して参ります。どうぞお楽しみに。(佐々木)

♪ 気分爽快歌声喫茶 ♪ 童謡や「ひばり歌謡」で盛り上がる



にするヒット曲や名曲の数々を気持ち良く合唱しました。

ひばり歌謡を代表する名曲『りんご追分』では、会場の皆さんの推薦で、明石

しょう子さん(東二ツ屋)が感動的なすばらしい台詞を披露。会場全体が拍手喝采で大いに盛り上がりました。

歌声喫茶は、今年度1回を残すのみですが、次年度も是非続けて欲しいとの多くの声がありました。



感動的でした。すばらしい台詞に会場が一つに

♪ 次回の歌声喫茶は3月30日です ♪ 初めての方も歓迎、どうぞ参加下さい

大人気の歌声喫茶。毎回30～40名の皆さんが参加され、楽しい雰囲気の中で交流を深めています。

あなたも参加して見ませんか。次回は3月30日(金)午後1時30分から、多目的研修センター和室で行います。お申し込みは豊里公民館まで。(☎ 0225-76-2237)



豊里が誇るすばらしい人物や場所を発掘し、顕彰する、その名も大きく『豊里の人間国宝と世界遺産』。人間国宝には、究極の良質米である献上米を連続して生産、『連覇』を達成した横町の佐々木金三さん。世界遺産には、町全域に用水を供給。豊里耕土を潤し、良質米生産のカナメ「境沢揚水機場」の登場です。あなたの周りの凄い人や珍しい行事・文化、ここぞと思う場所・施設を推薦して下さい。取材に伺います。



とよさとの 人間国宝 献上米生産『連覇』を達成 佐々木 金三さん(横町)

佐々木金三さんは昭和31年生まれの61歳。常に極上米生産をめざす稲作と高品質の転作大豆栽培に取り組む専業農家です。良質米生産の研究や技術向上に奮闘する農協の稲作部会のリーダーで、優秀な仲間たちと日頃から互いに切磋琢磨しつつ、極上米生産を模索。現在は部会長として活動。

2010年、部会の活動に加え自身の日頃の研究・努力が結実。ついに農林水産大臣賞を受賞し、皇室献上米の栄誉に輝きました。前年には佐藤幸治さん(西二ツ屋)が受賞。同じ地域から2年連続(献上米連覇)の栄誉は珍しく、極上米生産地豊里の名声を決定的にしました。現在、登米市消防団豊里支団長としても活躍中です。



菊の御紋の鳳凰杯

境沢揚水機場は、豊里耕土のほぼ全域に農業用水を供給する重要施設で、およそ1,200haの水田を潤しています。



豊里耕土を潤す 境沢揚水機場

施設は登米町境の鵜波にあり、北上川から取水。口径800mmと600mmのポンプ2台、最大で毎秒1.885tの揚水能力があります。

とよさとの 世界遺産 豊里耕土に用水を供給 境沢揚水機場

昭和18年に設置の旧施設は口径950mmのポンプ1台で、50年にわたり稼働してきましたが、老朽化が進み、63年に県営かんがい排水事業に着手。平成5年に建屋、機関ともに新たな揚水機場として竣工しました。

半世紀以上も農業発展に寄与してきた旧施設のポンプは、花の公園脇に記念碑とともに展示されています。



以前のポンプは花の公園脇に展示

とよさとの 人間国宝 佐藤 幸治 さん 認定書をお届けしました 世界遺産 究極の良質米 皇室献上米



究極の良質米、皇室献上米生産の先駆者で、「豊里耕土こそが世界遺産」と話す西二ツ屋の佐藤幸治さんに認定書を贈呈しました。また、皇室献上米の世界遺産認定証はJ A みやぎ登米農協豊里支店にお届けしました。



2月18日(日)、公民館中ホールにおいて、上方落語会『田辺寄席豊里公演』を開催しました。

この催しは、豊里コミュニティ推進協議会・地域づくり委員会が主催。桂文太師匠率いる総勢5名の一行をお招きし、大変好評だった昨年に引き続き2回目の公演となりました。

田辺寄席は、大阪で43年も続き、800回を超える名物地域寄席です。

上方落語は、当地方ではあまり馴染みがありませんが、昨年の公演は大入りの大盛況。評判上々で、「是非今年も」という多くのファンからの要望に応じて実現したものです。

笑いの本場から出前寄席が再びやって来た おもしろい噺に爆笑、また爆笑 上方落語会『田辺寄席』豊里公演開催



今回は、昨年を大幅に上回る230人の観客で満員状態。会場は爆笑の連続で、『おもしろい噺』で大いに楽しみました。

公演は二部構成で、皮切りは、昨年も出演した若手の桂小きんさんが登場。人気演目「時うどん」で笑いを誘いました。



引き続き笑福亭縁(ゆかり)さんが「桃太郎」の一席。昔と現代の親子関係の違いを面白おかしく演じて、会場大笑いとなりました。

第一部の締めは、「風流寄席囃子」。出囃子や、落語の中で演奏されるお囃子を出演者総登場で、文太師匠が解説。お伊勢参りの旅



人二人が狐に化かされる姿を話術と共に三味線や太鼓などで軽妙に表現しました。

中入りには、当協議会の佐々木信義会長が挨拶を行い、第二部に入りました。

第二部では、笑福亭呂好さんの「長短」の一席。妙に気の合うのんき者と短気者の掛け合いがおもしろく会場は爆笑、また爆笑。

締めくくりは桂文太師匠の「愛宕山」。京の旦那と大阪の太鼓持ちの参詣道中を寄席囃子を交えて演じました。名人芸の話術に加え、見振り手振りの見事さ。笑いとともに噺に引き込まれるすばらしい落語でした。

会場から「来年も是非」との声が多く聞かれました。

第2回子どもお菓子づくり教室開催 おいしいケーキできました



2月4日、多目的研修センター農産加工実習室(調理室)において、第2回子どもお菓子づくり教室を開催しました。

この教室は、参加希望者が多く、すぐに定員いっぱいとなる人気講座で、今回から午前と午後に一日2回実施することにしました。



生地をしっかりと混ぜ、ふんわりケーキに

今回は、バレンタインデーも近いことから、手づくりチョコレシピの『ガトーショコラ』に挑戦。14名の子どもたちが楽しく取り組みました。

指導は、みやぎの食育コーディネーター千石めぐみ先生で、しっとり・ふんわりケーキのコツなどを分かりやすく丁寧に教わりました。

先生の指導によると、ふんわりと焼きあげるには、生地をしっかりと混ぜるのが



おいしそうなガトーショコラが完成ポイントだということで、子どもたちは一生懸命かき混ぜていました。

焼き上がりを待つ間は、ケーキ箱をデコレーションし、ケーキが焼き上がるとココアパウダーをかけて完成。仕上がりはケーキも箱も大満足のできばえでした。

